

PENTAX®

Z-20P QUARTZ DATE

使用説明書



パナラマ
途中切替え

このたびはペンタックスカメラをお買い上げいただき誠にありがとうございます。Z-20Pは撮影条件に合わせてピクチャーモードを選ぶだけで簡単にいろいろな撮影を楽しむことができ、フィルム途中で自由にパノラマ／標準撮影の切り替えもできます。さらに、専用のパワーズームレンズとの組み合わせによるオート露光間ズームや撮影倍率の指定、焦点距離の設定など高度なインテリジェントパワーズームを備えたオートフォーカス一眼レフカメラです。また、5種類のペンタックスファンクションやパワーズーム、ハイパープログラムシフト、学習機能など多彩な機能を備えています。

その他、以下のような特徴を備えています。

- ・動体予測
- ・6分割測光

ご使用前に使用説明書の関係部分をよくお読みのうえ正しくお使いください。

各部の名称は表紙と裏表紙の内側にありますので、開いて各ページを読みながらご覧いただくこともできます。

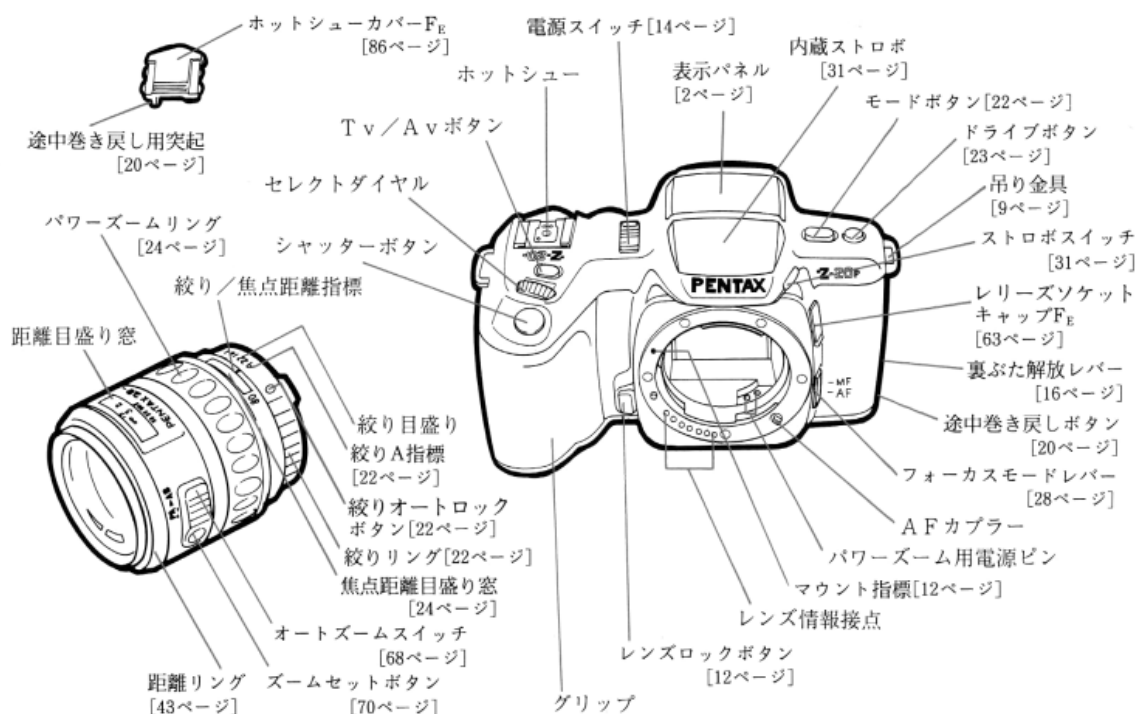
記号について

操作の方向	←
自動的に動きます	←---→
注目してください	○
点滅します	★
正しい	○
間違い	×



各部の名称を開いて見ながらお使いください。

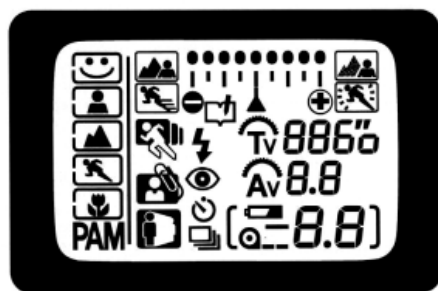
各部の名称①



表示パネルの表示ガイド	2
ファインダー内の表示ガイド	3
使い方は簡単です!	4
マウントについて	6
Z-20Pと各種レンズを組み合わせたときの機能	7
説明書の構成について	8
カメラの準備と基本操作	9~20
ストラップを取り付けます	9
電池を入れます	10
レンズを取り付けます	12
シャッターボタンの操作	14
電源スイッチの操作	14
データバックを使います	15
フィルムを入れます	16
フィルムの巻き戻しについて	19
基本的な使い方[撮影]	21~39
ピクチャーモードに合わせます	21
・グリーンモードに合わせます	22
ドライブモードについて	23
ズームレンズの使い方	24
カメラの構え方	27
オートフォーカスで使います	28
オートフォーカスでピントを合わせます	28
・フォーカスロック撮影について	30
撮影します	31
内蔵ストロボの基本的な使い方	31
・赤目軽減機能について	34
ピクチャーモードを使いましょう	35
・人物モード	36
・風景モード	37
・動体モード	38
・近接モード	39
応用的な使い方	40~98
ハイパープログラムシフトについて	40
学習機能について	42
手動によるピント合わせ	43

オートフォーカスの苦手な被写体	45
パノラマ撮影	47
各露出モードを選びます	50
・プログラム自動露出の使い方	52
・シャッター優先自動露出の使い方	54
・絞り優先自動露出の使い方	56
・マニュアル露出の使い方	59
・バルブの使い方	62
露出補正について	64
ドライブモードを選びます	65
・連続撮影	66
・セルフタイマー撮影の使い方	66
パワーズームの拡張機能	68
・ズームクリップモードの使い方	69
・イメージサイズ指定モードの使い方	71
・露光間ズームモードの使い方	74
内蔵ストロボを使います	77
ペンタックスファンクション	82
外付けストロボの使い方	86
・光量比制御シンクロ撮影	89
アクセサリーについて	90
・専用アクセサリー	90
・ソフトケース	91
・クォーツデットの電池交換	92
・クォーツデットのデータ修正	93
絞りとシャッター速度の効果	95
被写界深度	97
赤外線指標について	98
その他について	99~111
電池について	99
取り扱い上の注意	100
こんなときは?	102
主な仕様	104
お問い合わせは次の各サービス窓口へ	108
アフターサービスについて	111

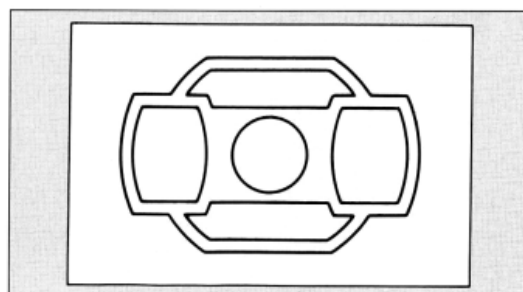
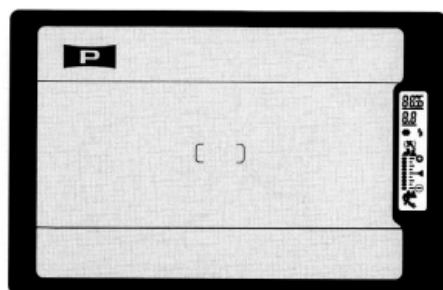
表示パネルの表示ガイド



P	: プログラム自動露出マーク[52 ページ]
A	: シャッター優先/絞り優先自動露出マーク[54 ページ]
Av	: Av[絞り]マーク
M	: マニュアル露出マーク[59 ページ]
イメージサイズ	: イメージサイズ指定モードマーク[71 ページ]
ズームクリップ	: ズームクリップモードマーク[69 ページ]
露光間ズーム	: 露光間ズームモードマーク[74 ページ]
シャッター速度	: シャッター速度表示
絞り	: 絞り表示
グリーンモード	: グリーンモードマーク[22ページ]
人物モード	: 人物モードマーク[36ページ]
風景モード	: 風景モードマーク[37ページ]
動体モード	: 動体モードマーク[38ページ]
近接モード	: 近接モードマーク[39ページ]

バークラフ	: バークラフ
学習機能	: 学習機能マーク[42ページ]
Tv	: Tv[シャッター速度]マーク
赤目軽減機能	: 赤目軽減機能マーク[34ページ]
連続撮影	: 連続撮影マーク[66 ページ]
1コマ撮影	: 1コマ撮影マーク[23ページ]
セルフタイマー	: セルフタイマーマーク[66 ページ]
ストロボ情報	: ストロボ情報マーク[31ページ]
フィルム枚数/露出補正	: フィルム枚数/露出補正表示
フィルム状態	: フィルム状態マーク[18ページ]
絞り効果	: 絞り効果マーク[深度深い][40ページ]
絞り効果	: 絞り効果マーク[深度浅い][40ページ]
動体効果	: 動体効果マーク[ぶれる][40ページ]
動体効果	: 動体効果マーク[ぶれない][40ページ]
電池消費	: 電池消費[11ページ]

ファインダー内の表示ガイド



- [] : オートフォーカスフレーム[A Fフレーム]
- ⚡ : ストロボ情報マーク
- : 合焦マーク[ピント情報]
- 2000 : Tv表示[シャッター速度情報]
- 32 : Av表示[絞り情報]
- 📷 : 動体効果マーク[ぶれる]
- 📷 : 動体効果マーク[ぶれない]
- 📷 : 絞り効果マーク[深度深い]
- 📷 : 絞り効果マーク[深度浅い]
- 📷 : バッテリー
- P : パノラマシグナル

※ ファインダー内の線は、パノラマ撮影をする際のパノラマ視野枠になります。

※ 標準撮影のときは、パノラマシグナル[P]が消えていることを確認して下さい。

6分割測光について

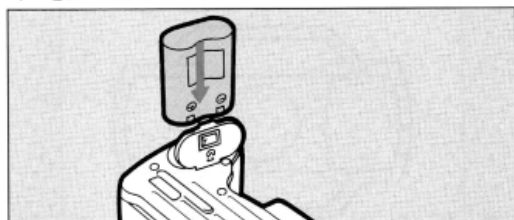
Z-20Pには、高精度のTTL 6分割測光方式が採用されています。画面の中を6つに分割して測光を行ない、様々な光の条件下で最適な露出を得ることができます。

例えば、従来の平均測光方式では逆光の人物撮影のときに、背景の明るい部分が全体の露出に影響を与えるため、写したい人物がどうしても暗くなってしまう。これに対して分割測光では、画面のどの部分にどんな明るさのものがあるのかカメラが判断し、そのまま撮影しても人物が暗くならないように露出を決定します。また、逆光以外の明暗差がある条件下でも画面を分割して適正露出が得られるように自動的に露出補正をしますから、安心して撮影を楽しんでいただけます。

(3)

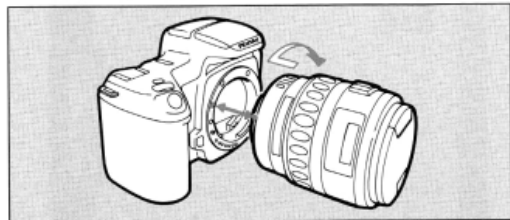
使い方は簡単です！[とにかく撮影してみたい人のために]

1) 電池を入れてください



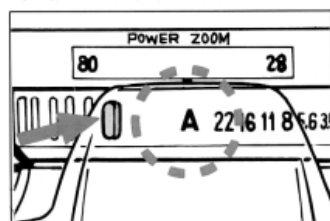
電池ふたを開いて、リチウム電池[2CR5]1本をカメラの表示に合わせて入れます。[10ページ]

2) レンズを取り付けてください



レンズとカメラのマウント指標を合わせてはめ込み、右に止まるまで回してロックします。[12ページ]

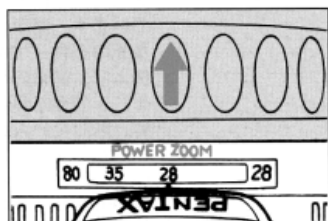
3) 絞りをA位置にしてください



レンズの絞りオートロックボタンを押しながらリングを回し、絞りをA位置に合わせます。[22ページ]

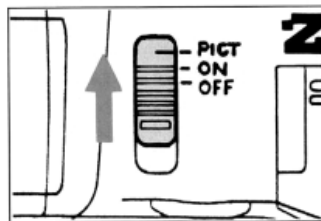
(4)

4) パワーズームにしてください



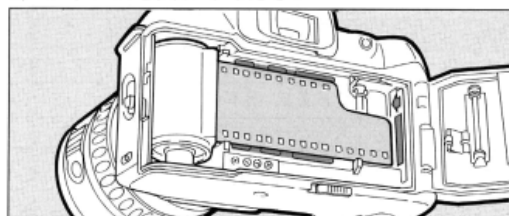
レンズの「POWER ZOOM」が見える状態にし、オートズームスイッチを[P]にします[25ページ]。パワーズームはFAズームでのみ可能です。

5) ピクチャーポジションにします



電源スイッチを「PICT」[ピクチャーポジション]に合わせグリーンモードにします。[22ページ]

6) フィルムを入れてください



カメラの裏ぶたを開けてフィルムを入れ、先端マークに合わせて裏ぶたを閉めます。自動的に1コマ目まで巻き上がります。[16ページ]

8) パワーズームで構図を決めてください



ファインダーを覗きながらズームリングを回して、写したものを好みの大きさにしてください。[24ページ]

7) オートフォーカスモードにしてください



フォーカスモードレバーを「AF」に合わせます。[28ページ]

9) ピントを合わせて撮影してください



写したいもの[被写体]をAFフレーム「□」に合わせて、シャッターボタンを静かに押して撮影します。[28ページ]

⑤

マウントについて

カメラ・レンズのマウントについて

マウントの分類名称	レンズ分類名称	カメラ代表機種名
① KAF2マウント	ペンタックスFAレンズ	Z-1、Z-10、Z-20、Z-20P、Z-50P
② KAFマウント	ペンタックスFレンズ	SFXN、SF7
③ KAマウント	ペンタックスAレンズ	スーパーA、P30T
④ Kマウント	ペンタックスMレンズ およびペンタックスレンズ	LX、K1000
⑤ スクリューマウント	SMCタクマーレンズなど	ESII、SP

①～④のレンズはKマウント[バヨネット式]です。

①～②はオートフォーカス対応レンズです。

③～⑤はマニュアルフォーカスレンズです。

⑤は旧タイプのねじ込み式レンズですから、マウントアダプターKを使って取り付けます。

①～③は絞りリングにA[オート]位置が付いています。

ペンタックスFAレンズはKマウントに以下の機能が追加されたもので、従来のKマウントカメラにも使えるようになっています。

- パワーズーム用電源ピン
- AFカプラー
- レンズ情報接点

Kマウント互換イメージ図

KAF2マウントレンズ	KAFマウントレンズ	KAマウントレンズ	Kマウントレンズ
● パワーズーム用電源ピン ● AFカプラー ● レンズ情報接点	● AFカプラー ● レンズ情報接点	● レンズ情報接点	

⑥

Z-20Pと各種レンズを組み合わせたときの機能

機能	レンズ [マウント名]	F Aレンズ [K AF2]	F レンズ [K AF]	A レンズ [K A]	M レンズ [K]	S レンズ [P]
オートフォーカス(レンズ単体使用) (A Fアダプター1.7×使用)	○	○	○	×	×	×
マニュアルフォーカス(F I表示の利用)注2 (マウント面の利用)	○ 注3	○ 注3	○ 注3	○ 注3	○ 注3	×
パワーズーム	○ 注4	×	×	×	×	×
ズームクリップ	○ 注4	×	×	×	×	×
イメージサイズ指定	○ 注4	×	×	×	×	×
露光間ズーム	○ 注4	×	×	×	×	×
プログラム自動露出	○	○	○	○	×	×
絞り優先自動露出	○	○	○	○	○ 注5	○ 注5
シャッター優先自動露出	○	○	○	○	×	×
マニュアル露出	○	○	○	○	○ 注5	○ 注5
プログラムTTLオートストロボ撮影	○	○	○	○	×	×
TTLオートストロボ撮影	○	○	○	○	○	○
学習機能	○	○	○	○	×	×
ピクチャーモード	○	○	○	○	×	×
分割測光	○	○	○	○	×	×
絞りA位置以外の絞り目安表示	○	○	○	×	×	×

注1：レンズの開放F値がF2.8より明るいレンズのみ。[A Fアダプターの説明書をご覧ください。]

注2：ファインダー内の合焦マーク  に従って行なう手動のピント合わせ。[F I = フォーカスインジケーター]

注3：レンズの開放F値がF5.6より明るいレンズのみ。

注4：F Aズームレンズのみ。

注5：絞りA位置はありませんので、セレクトダイヤルでの絞りセットでは使用できません。

注6：絞り優先自動露出のときは、中央重点測光になります。[マニュアル露出時はスポット測光]

⑦

説明書の構成について

この説明書を効果的にご利用いただくために、
次のような構成になっています。

I カメラの準備と基本操作

III 応用的な使い方

II 基本的な使い方 [撮影]

IV その他について

●とにかくZ-20Pで撮影してみたい方は、「カメラの準備と基本操作」と「基本的な使い方 [撮影]」をお読みください。最小限の操作を知っていただくだけで簡単な撮影が楽しみいただけます。

⑧